

紙に字を書くこと

2018年4月から金曜日の歯科外来を担当しております岡田俊輔と申します。出身は兵庫県ですが、母の地元が岡山市内だったため幼少期から頻繁に訪れており、また私自身も大学から岡山に住んでいることから、すっかり岡山県民です。

さて、皆さんは普段、字を書かれるでしょうか。最近スマホやPCばかりで、実際に文字を書く機会がめっきりと少なくなってきた…そんな方も多いのではないのでしょうか。私もスマホ中毒で、ペンを握ることが減多なくなっていました。

そんな私ですが、つい先日、祖父の形見分けとして万年筆を受け取りました。元々は誰かからの贈り物だったようで、しっかりした桐箱に入っており、ペン先には祖父の名前が彫ってありました。

万年筆というと、「大人の文房具」というある種の憧れのよ

うなものがあり、いつかは欲しいと思いつつも、結局買わずじまいでここまでできていました。ひょんなことから万年筆を手に入れた私は、ここぞとばかりに貰ったその足でインクを買いに行き、「万年筆といえば濃い青でしょ。」と安直な発想で色を選び、家に帰って早速使ってみました。ボールペンとは書き心地がだいぶ異なるため、慣れるのに少し時間がかかりましたが、いざ書けるようになって何というか、良い…。ブルーブラックの色も綺麗…。ああ、おとな…。

すっかり万年筆の虜になったわけですが、数日間、数週間と使っているうちに、だんだん困った点も見えてきました。しばらく放って置くとインクが乾くため、そのたびにペン先を水に浸けて乾いたインクを溶かさなければならなかったり、インクの減りが早かったり。私の使



歯科

おかだ しゅんすけ

岡田 俊輔 先生

い方が悪いだけかもしれませんが、ボールペンの方が格段に扱いやすい…。

ただ、手間のかかる分、余計に愛着が湧いてきて、心なしか自分の汚い字も味があるようにさえ感じてきました。皆さんもたまにはスマホやPCから離れて、紙に字を書いてみてはいかがでしょうか。

岡田先生は、毎週金曜の午前午後の歯科を担当されています。

Doctor's Eyes